

コロナ禍における ラーニング・コモنزの継承 グローバル地域文化学部との連携による セルフラーニング・コモنزツアーを事例に

学習支援・教育開発センター 助教 矢内真理子

1. セルフラーニング・コモنزツアーの概要

本稿では、2021年度春学期にグローバル地域文化学部の初年次科目「グローバル地域文化導入セミナー」において、学習支援・教育開発センター（以下、センター）との連携によって実施された課題「セルフラーニング・コモنزツアー」（以下、セルフツアー）について報告する。実施期間は2021年4月から6月にかけて、対象となった人数は10クラス、約200人である。グローバル地域文化学部の亀谷百合佳先生から4月に提案があり、実現した。セルフツアーの課題は、学生が1人でラーニング・コモنزの施設内をめぐり、マップ（後述）に記載されているそれぞれのエリア内に関するクイズに回答する。クイズにすべて答えたら、3階のアカデミックサポートエリアに行き、センターのスタッフおよびラーニング・アシスタント（以下、LA）の確認を受け、センターのハンコをもらう。その後、セミナーの担当者が定める期日までに、マップを提出し、クラス内でクイズの答え合わせをする、という流れとなっている。

2. コロナ禍以前のラーニング・コモنزの見学

2019年度までのラーニング・コモنز内の見学は、基本的に自由に行うことができた。そのため、授業担当者の引率による、ゼミや授業単位での見学者も多くあり、グループでの見学も活発に行われた。他にもセンターが毎年春学期の4月～5月にかけ企画した「ラーニング・コモنز利用案内ツアー」（以下、利用案内ツアー）も、多くの参加者があった。利用案内ツアーは、LAが案内役となり、1日2回、30分で施設を

一巡し紹介する、という企画だった。これらの利用案内ツアー・見学は主に春学期を中心に実施され、特に新入生にラーニング・コモンズを知ってもらったり、利用を促したりする目的で行われた。

しかし、2020年度の春学期はコロナ禍のためラーニング・コモンズを7月まで閉室した。さらに、感染症対策としてラーニング・コモンズ内の利用者数の制限が設けられることになった。アカデミックサポートエリアなどの指定されたエリアを除いて発話が禁止された。グループ単位での利用も制限され、個人単位での利用のみとされた。これらの背景により、センター主催の利用案内ツアーは春学期には実施されず、秋学期に行われた（9月28日～11月6日の平日）。その際に参加者数を5人までと制限し、LA以外の発話ができないルール設定となった。自由見学についても、グループ単位での入室ができないことから、従来の見学ができない、という状況に陥った。コロナ禍の状況下で、ラーニング・コモンズのありようは大きく変貌し、2020年度以降に入学した学生に対してラーニング・コモンズの施設を知ってもらうことに大きな課題が生まれた。

3. セルフラーニング・コモンズツアーマップ作成時の工夫

さて、ラーニング・コモンズのマップは、従来施設案内のパンフレットに掲載されていたものがあるほか、利用案内ツアー用に、各エリアの詳細な最新情報が記載されたマニュアルがセンター内で共有されている。今回の課題のためのマップ作成は、パンフレットの地図を基本とし、そこに学生に読んでもらうためのコメントとクイズを考える、という流れをたどった。そこに各エリアの紹介だけでなく、もともとのエリアを作った目的や利用の提案、現時点のルール、ラーニング・コモンズで行われているイベントの紹介など、さらに詳細な情報の案内のために、ラーニング・コモンズのホームページへのリンクなどを設けた。マップ作成で心掛けたことは、第一にクイズを作るにあたり、実際に施設に行かないと答えられない内容にしたこと、第二に、クイズの中に、学生に利用してもらう際に知っておいてほしいこととして、現時点での利用ルールについて答えてもらう設問を設けたことがある。また、クイズにすべて回答したあとで、アカデミックサポートエリアに立ち寄ってもらうことで、学習相談の案内を行ったり、学生からの施設に関する質問を受け付けたりすることも行った。そのため、単にマップのみで課題が完結するのではなく、同志社大学のラーニング・コモンズの特徴である人的資源によるフォローもでき、有機的な仕組みとして、本ツアー



が機能したといえよう。

亀谷先生から提案を受けたのが4月上旬で、4月下旬には各クラスでの課題が始まったことから、急ごしらえとなったが、亀谷先生からのコメントやセンター内でのアイデアや助力により、マップが作成された。マップはこの報告書の末尾に掲載したのでご覧いただきたい。

4. まとめ

マップを作成する中で筆者は、ラーニング・コモンズという施設を作り、運用するにあたり、やはりその歴史と、施設の利用の仕方などについて継続的に伝え続ける必要がある、ということを改めて確認した。施設を作って(魂を入れて)それっきりでは、施設の目的はいつしか忘れ去られ、単なる自習室となってしまうだろう。生きた施設としてあり続けるために、歴史や理念の継承はコロナ禍に関係なく行われる必要があるが、コロナ禍によってよりはっきりと気づかされた。

付記

亀谷百合佳先生をはじめ、グローバル地域文化学部のご協力いただいた先生方に感謝申し上げます。

良心館ラーニング・コモンズツアースツップ (2階)

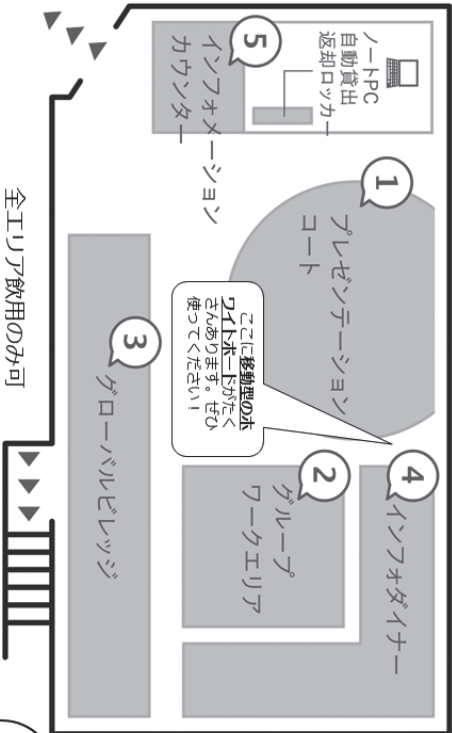
クローバー地域文化学部1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
ラーニング・コモンズ (LC) は、皆さんの学びのための施設です。知って歩いて損はないせむラーニング・ツアースツップ (L&A 大生院生エタツツ) からのクイズに答えて、LCP生になるろう！

①プレゼンテーションコート

現在は個人学習での利用に限定しています。
多くの人が集まる場として、**本スタディーセッション**や**発表会**、**勉強会**などのイベントが実施されてきました。京田辺校地に専らテレビ会議をつなぐことも可能です。

②グローバルワークエリア

こちらも現在は個人学習での利用に限定しています。
プロジェクトやホワイエボード、自由に動かせる机や椅子、移動式の書型の台座があり、グループワークの場として使われています。



⑤ インフォメーションカウンター

LCに來ます受付を済ませましょう。
インフォメーションの予約、運送コード、イベント予約、外付けDVDドライブ、リネコソ類などの備品の貸出し (数に限りがあります) もここで受付けます。

LCクイズ①
このエリアに常駐しているLCの備品や機器の使い方を教えてください。

LCクイズ②
このエリアではOO言語止。

※情報はすべて2021年4月現在のものです。開館時間や運用ルールは変更になる可能性があります。
ツアースツップはラーニング・コモンズ(L&A)と同じものです。作成：同志社大学学習支援・教育開発センター

開館時間 (21年度春学期)
月～土 9時～22時
(2階のみ18時まで)
日 9時～17時

LCを運営している学習支援・教育開発センターのYouTubeチャンネルのQRコードはこちら。施設紹介動画も更新中！



④ インフォダインナー

現在は、夏方向オンパス(授業支援) (1回90分)、4人までのグループワーク (1回2時間) のための確保席になっています。
アタミエ風のホワイエ席でリラックスして学習でき、プロジェクトや壁一面の巨大ホワイトボード、42型ラズベリーパイインフォメーションカウンターでの予約が必須です (当日可)。リアルタイムの利用状況は以下のQRコードから確認できます。

LCクイズ③
インフォダインナーにあるチャイナスタイルの数は何台でしょうか？



新入生の皆さんへ

良心館ラーニング・コモンズは、**アタミエ**ラーニングの注目に伴い、2013年に開設しました。以来、様々なイベントの実施場所となったり、たくさんの同志社生に**グループワークの場**として利用されてきました。
机や椅子、ホワイトボードなどを動かして、空間を自由にアレンジできることもLCの大きな長所です。

しかし、現在は感染症対策のために、一部エリアを除き、個人学習での利用に限定しています。そのため机や椅子も動かさずに使っていただいています。
感染病が収束したら、個人学習だけでなく、グループワークの場も活用していただきたいです。

良心館ラーニング・コモンズツアースツップ (2階) 解答欄

学生ID

()

名前

()

LCクイズ①の答え

LCクイズ②の答え

LCクイズ③の答え

裏に捺す

押印欄

すべてのエリアを回れたら、3階アカリミックスカホートエリアで必ず印を右からつけてください。



良心館ラーニング・コメンズ ツアースタッフ (3階) 解答欄

LCクイズ④の答え

④プリントステーション
ホスター印刷や論文集の製本、チラシ、Tシャツ作りなど、印刷に關することにはココにおまかせ！ 校章で印刷できます。セルフレジも機能あります。オーダー時にスタッフがお着付権について注意事項を話してくれるので安心です。

LCクイズ⑤の答え

⑤マルチメディアアラウンジ
デジタル編集ならここ！ MacのPC、スキャナ、タブレット、3Dプリンタなどの設備や、Adobe Premier、Illustratorなどの編集ソフトも充実！ 使い方がわからないときは、常駐する専属スタッフと学生補助員に質問しよう。

良心館ラーニング・コメンズツアースタッフ (3階)

①アカデミックサポートエリア

対応時間 月～金10:30～17:30

教員とアカデミック・インストラクター、LAが常駐しています。皆さんの学習に關する助言を行います(学習相談)。1回30分まで、予約は不要です。オンラインでの学習支援や、アカデミックスキルセミナーなどのイベントも実施しています。

LCクイズ⑤
現在、アカデミックサポートエリアなど一部のエリアを除き、ICで禁止されていることはどのくらいありますか。
①お話をすること
②自分のPCを持ち込み利用すること
③一人で自習すること

③グループワークルーム

1.2

1.2と右に、現在は個人学習での利用に限定しています。これまで、セミナーやグループワークの実施場所として使われてきました。また、グループワークルームA1は種別入場券として利用できます。HDカメラで撮影黒板、壁面のホワイトボードが使えます。

LCクイズ⑥
グループワークルームA01にある緑色のものの使い道は何でしょうか？
(ヒント：撮影の時に使います)



⑥PCコーナー

テキストPCで作業できます。机が大きいのでゆとり使えます。

⑥PCコーナー

WebシミュレーションからDokodemoプリントを印刷したいフリップを送りますと、LC内に6台あるプリンターから印刷できます。(USBからのプリントも可能) ※PCのことで質問があったら、補助員に聞いてください！



WebシミュレーションからDokodemoプリントを印刷したいフリップを送りますと、LC内に6台あるプリンターから印刷できます。(USBからのプリントも可能) ※PCのことで質問があったら、補助員に聞いてください！

LCの最新情報は こちらから！

LCのHPでは、イベントの告知や開室時間などをお知らせいたします。オンライン上の学習支援の窓口でもありますので、ぜひチェックしてみてください。

